

Corporate Data (2020年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設立	2013年10月1日
資本金	300百万円
発行済株式総数	23,890,800株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:3676)
主なグループ会社 (*は関連会社)	株式会社デジタルハーツ DIGITAL HEARTS USA Inc. DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd. Orgosoft Co., Ltd. 株式会社エイネット LOGIGEAR CORPORATION LOGIGEAR VIETNAM CO., LTD. 株式会社ロジギアジャパン Aetas株式会社 株式会社フレイムハーツ 株式会社レッドチーム・テクノロジーズ 株式会社ZEG*
正社員数(連結)	1,330名

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会	毎年3月31日
基準日	期末配当金 毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主通信

2020年3月期

2019.4.1 ▶ 2020.3.31



デジタルハーツ ホールディングス

証券コード:3676



代表取締役社長 CEO
玉塚 元一

当期は、主力のデバッグサービスがコンソールゲーム向けを中心に好調に推移するとともに、注力事業であるエンタープライズ事業が前期比1.5倍以上の成長を実現するなど業績を牽引したことにより、売上高は21,138百万円(前期比109.8%)と16期連続増収を達成いたしました。一方、営業利益につきましては、M&A関連費等、今後の成長に必要な不可欠な費用が発生したことや、一部新型コロナウイルス感染症等市場環境の影響を受けたことにより、1,394百万円(前期比86.8%)となりました。当期は残念ながら利益面では前期を下回る結果となりましたが、損失を計上していたエンタープライズ事業が第2四半期以降黒字化するなど、「第二創業期」としてこれまで取り組んできたことの成果は確実に始めている。

その一つが、ゲームテスターからテストエンジニアやセキュリティエキスパートといった専門人材へのシフトです。当社の最大の強みはやはり、約8,000名の登録テスターだと考えています。彼らの多くはゲームが好きだから、デジタルデバイスが好きだから、といった理由で当社に入社してきますが、実はものすごい集中力を持っていたり、あるいは独学でプログラム言語を習得していたりと、エンジニアになる素養を持っている方も少なくありません。彼らに明確な目標を提示し、それを達成するための教育体制や人事制度をきちんと整備すれば、きっと多くの方が新しいチャレンジを受け入れてくれると考えていました。「第二創業期」を始めた当初は、あくまで仮説でしかありませんでしたが、実際に300名を超える方々がソフトウェアテストの技術者資格を新た

に取得したり、50名を超える方々がセキュリティの分野で活躍し始めたりと、この仮説は間違っていなかったことが証明されました。今後、当社は今まで以上に多様な人材が活躍できる会社を目指しています。そのために必要な人事制度や人材マネジメント、教育体制等の土台を今、作ることができたと考えています。

そしてもう一つが、M&Aやアライアンスの積極活用により、事業拡大に必要な武器がそろってきたということです。例えば当期子会社化したLogiGearグループは、米国で25年間ソフトウェアテストの専門企業として活躍しており、彼らの持つテストノウハウ、特にテスト自動化に関する知見は、当社グループの新しい強みになると考えています。また、セキュリティの分野では、国内セキュリティ大手の株式会社ラックと合併会社を設立し、米国Synack社の他社には真似できない高度なセキュリティ検査サービスをより幅広いお客様に提案できる体

制を構築するなど、従来の“ゲームのテスト屋さん”では得られなかった技術・ノウハウ・顧客基盤を強化して参りました。

これらの取り組みの成果は、次期以降一気に花開くと自信を持っています。足元では、新型コロナウイルス感染症の影響等不確実な要素があるため、次期の業績予想は現時点では未定とさせていただいておりますが、中長期的な市場環境は間違いなく当社グループにとって追い風であり、これまでの成長戦略をいかにスピードをもって実行できるかだと考えております。

今後も、当社では、グループ丸となって事業拡大を推進し、「アジアNo.1の総合テスト・ソリューションカンパニー」の早期実現を目指して参りますので、株主の皆様におかれましては、是非、今後の当社グループにご期待いただき、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月期 連結業績

(百万円)	前期実績	当期実績	
	19/3期	20/3期	前期比
売上高	19,254	21,138	109.8%
営業利益	1,605	1,394	86.8%
経常利益	1,651	1,372	83.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,575	792	50.3%

決算のポイント

- 注力事業のエンタープライズ事業が前期比150%以上に成長し業績を牽引、過去最高の売上高を更新
- M&A関連費の増加や新型コロナウイルス感染症等市場環境の影響を受け営業利益は減少
- 前期計上した特別利益733百万円の影響を除外すれば当期純利益は前期並み

エンターテインメント事業

事業環境の変化等の影響を受けつつも、16期連続増収を達成

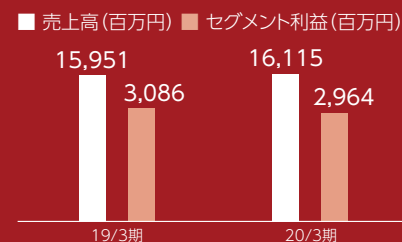
売上高

16,115 百万円
(前期比101.0%)

セグメント利益

2,964 百万円
(前期比96.0%)

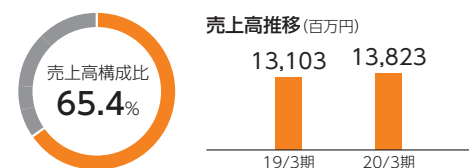
業績推移



デバッグ

ゲームやパチンコ・パチスロの不具合をユーザー目線で検出し顧客企業に報告するサービスを提供

売上高 13,823 百万円 (前期比105.5%)



20/3期 ハイライト

- コンソールゲーム向けサービスが好調に推移し、増収増益を達成
- 第4四半期からモバイルゲーム向けを中心に、新型コロナウイルス感染症の影響が発生

21/3期 重点施策

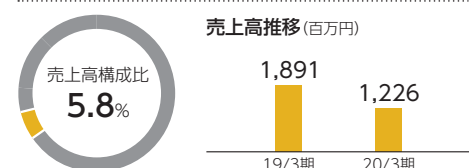
- テストセンターであるLab.の稼働最適化やバックオフィス業務の効率化を推進



クリエイティブ

コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる制作サポートサービスを提供

売上高 1,226 百万円 (前期比64.8%)

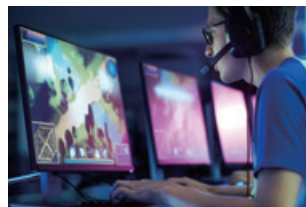


20/3期 ハイライト

- 顧客企業におけるモバイルゲームの新規タイトル開発数の減少を受け大幅減収、セグメント全体の減益要因に

21/3期 重点施策

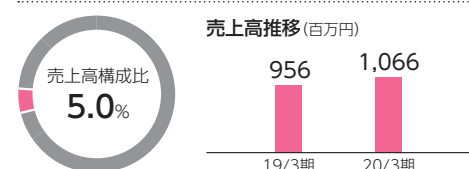
- 大型のゲーム開発案件獲得に向けた営業活動を強化



メディア及びその他

日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営やカスタマーサポートサービスを提供

売上高 1,066 百万円 (前期比111.5%)



20/3期 ハイライト

- 4Gamer.net及びカスタマーサポートともに増収を達成

21/3期 重点施策

- 動画広告等、新たなメディア手法に挑戦



エンタープライズ事業

第2四半期以降黒字化を継続し、大幅な収益改善を実現

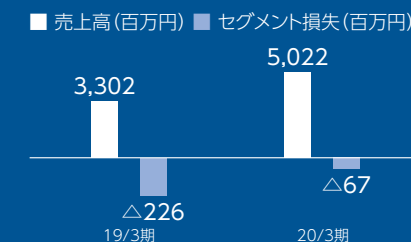
売上高

5,022 百万円
(前期比152.1%)

セグメント損失

△67 百万円
(前期比 —)

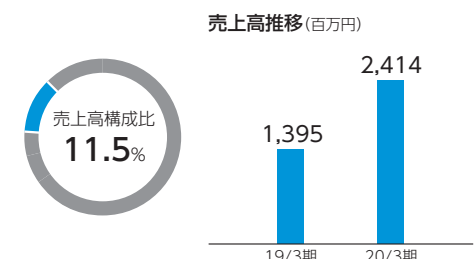
業績推移



システムテスト

エンタープライズシステムの不具合を検出するサービスを提供

売上高 2,414 百万円 (前期比173.0%)



20/3期 ハイライト

- 新規顧客開拓及び1社あたりの取引規模の拡大が進み大幅増収を達成
- 当期子会社化したLogiGearグループの業績が第4四半期から寄与

21/3期 重点施策

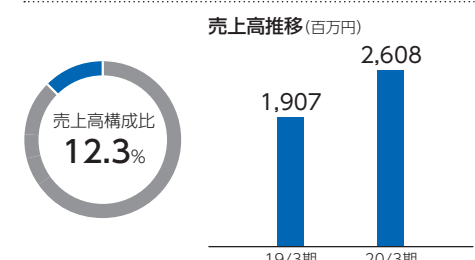
- エンジニアの採用・育成を継続するとともに、外部リソースの活用を開始することで、受注体制を強化
- ベトナム拠点に在籍する豊富なエンジニアの日本市場への活用に向けた取り組みを推進



ITサービス・セキュリティ

システムの受託開発やITサポート、セキュリティ等のサービスを提供

売上高 2,608 百万円 (前期比136.7%)



20/3期 ハイライト

- システムの受託開発及びセキュリティサービスが好調に推移し大幅増収を達成
- 国内セキュリティ大手の(株)ラックと合併会社を設立し、セキュリティ事業を強化

21/3期 重点施策

- アライアンスも積極活用しながら、今後需要拡大が見込まれるサービスの拡充を推進



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	19/3期末(前期末)	20/3期末(当期末)
流動資産	7,403	7,453
固定資産	2,428	3,183
資産合計	9,832	10,637
流動負債	4,192	5,134
固定負債	627	63
転換社債型新株予約権付社債	508	—
負債合計	4,819	5,198
株主資本	4,763	4,898
資本金	300	300
資本剰余金	366	355
利益剰余金	6,408	6,904
自己株式	△2,311	△2,662
その他の包括利益累計額	28	24
新株予約権	13	13
非支配株主持分	207	502
純資産合計	5,012	5,438
負債・純資産合計	9,832	10,637

連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	19/3期(前期)	20/3期(当期)
売上高	19,254	21,138
売上原価	13,791	15,566
売上総利益	5,463	5,571
販売費及び一般管理費	3,857	4,177
営業利益	1,605	1,394
営業外収益	109	22
営業外費用	63	44
経常利益	1,651	1,372
特別利益	733	—
特別損失	51	75
税金等調整前当期純利益	2,333	1,296
法人税等	745	499
当期純利益	1,587	797
非支配株主に帰属する当期純利益	12	5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,575	792

詳しい財務情報を知りたい方は

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュース等、さまざまな情報を公開しています。

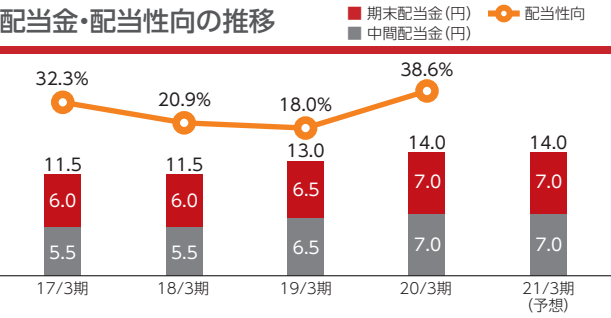
 <https://www.digitalhearts-hd.com/ir/>  デジタルハーツ IR



前期比1.0円の増配を実施、次期も安定的な配当を実施予定

当社は、事業成長投資と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向20%を下限の目途として配当を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、当期の年間配当金につきましては、1株当たり14.0円とさせていただきました。また、次期の年間配当金につきましても、当期と同水準の14.0円を予定しております。



※2016年10月1日を効力発生日として1:2の分割を実施。
このため、17/3期中間配当以前の配当は、上記株式分割を考慮した場合の金額を記載しています。

自己株式取得のお知らせ

当社は、2019年11月12日～2020年2月6日までの期間に自己株式を取得しました。

取得内容	
取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	474,700株
株式の取得価格の総額	499百万円
取得期間	2019年11月12日～2020年2月6日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

株式の状況

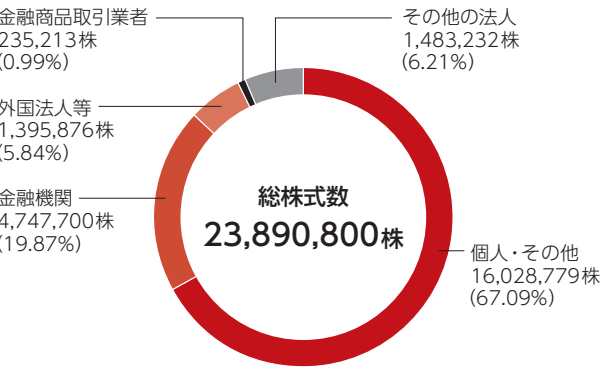
発行可能株式総数 76,800,000株
発行済株式の総数 23,890,800株
(自己株式2,360,727株を含みます。)
株主数 7,608名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤 栄一	7,678,791	35.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,273,500	15.20
A-1合同会社	1,324,900	6.15
A&G共創投資第1号投資事業有限責任組合	1,095,983	5.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	552,500	2.57

(注) 1. 当社は、自己株式2,360,727株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己名義株式2,360,727株(9.88%)を含んでおります。